

吉田房子詩集

お父さんの心の庭

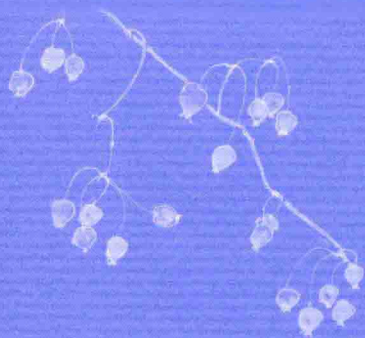
— 夫として 父として —



吉田房子詩集

お父さんの心の庭

—夫として 父として—



銀鈴詩集

お父さんの心の庭―夫として父として―

二〇一四年二月二三日 初版発行

定価…本体一、八〇〇円＋税

著 者 吉田房子 © 阿見みどり／絵 ©

発行者 柴崎聡・西野真由美

発行所 銀の鈴社

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪の下3-8-33

TEL 0467-61-1930 FAX 0467-61-1931

<http://www.ginsuzu.com>

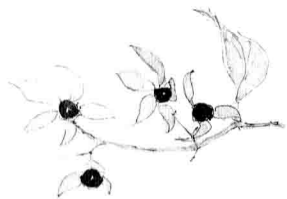
E-mail info@ginsuzu.com

印刷 電算印刷／製本 渋谷文泉閣

©Fusako Yoshida

ISBN 978-4-87786-392-0 C0092

NDC911



もくじ

序詩 お父さん

I お父さん

- お父さんの心の庭……………6
お父さんの心……………8
スポーツが心をつないで……………10
小さな庭園をつくって……………12
山野草……………14
緋めだかを育てて……………16
小鳥の餌台に……………18
蠟梅……………20
紅梅……………22
牡丹と共に……………24



二輪草……………	26
彼岸花は赤……………	28
古代蓮の里で……………	30
紅唐子……………	32
進学……………	34
楽しかったかい……………	36
愛の一喝……………	38
夫の見立て……………	40
二人で たしかめたのに……………	42
発声練習しながら……………	44
宝くじ……………	46
十人に一人の傑物……………	48
手紙……………	50
主役はお父さん……………	52
院長室のひととき……………	54

Ⅱ いのちがあるから

思い出の おじいちゃま……	58
いのちがあるから……	60
今日がいちばん若い日で……	62
バラのゆりかご……	64
有終 ゆうしゆう の美……	66
麦と風のうた……	68
赤とんぼ……	70
蓮の芽生え……	72
土用芽……	74

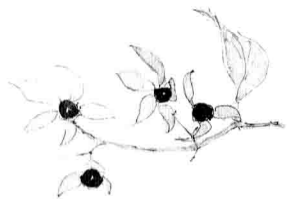
あとがき……	76
絵・阿見みどり	

序
詩

お父さん

お父さんは 心に
広い庭をもっている
いつでも おだやかで
だれにも やさしくできる庭





もくじ

序詩 お父さん

I お父さん

お父さんの心の庭……	6
お父さんの心……	8
スポーツが心をつないで……	10
小さな庭園をつくって……	12
山野草……	14
緋めだかを育てて……	16
小鳥の餌台に……	18
蠟梅……	20
紅梅……	22
牡丹と共に……	24



二輪草……………	26
彼岸花は赤……………	28
古代蓮の里で……………	30
べにからこ 紅唐子……………	32
進 学……………	34
楽しかったかい……………	36
愛の一喝 ^{かつ} ……………	38
夫の見立て……………	40
二人で たしかめたのに……………	42
発声練習しながら……………	44
宝くじ……………	46
十人に一人の傑物……………	48
手 紙……………	50
主役はお父さん……………	52
院長室のひととき……………	54

II

いのちがあるから

思い出の おじいちゃま…… 58

いのちがあるから…… 60

今日がいちばん若い日で…… 62

バラのゆりかご…… 64

有終ゆうしゆうの美…… 66

麦と風のうた…… 68

赤とんぼ…… 70

蓮の芽生え…… 72

土用芽…… 74

あとがき…… 76

絵・阿見みどり

I

お父さん



お父さんの心の庭

お父さんは

自然が好き

植物が好き

家の庭で

山野草を育て

みんなだいじに愛してる

お父さんは

思いきり走れる

グランドが好き

お父さんの庭は広い

スポーツマンシップであふれてる



お父さんの心

ある日

お父さんは言った

お母さんの心は自由だよ

だれのことを考えていても

けっして束縛しないから

私は考えた

お父さんも

自由に

のびのびと 生きて欲しいと

大らかに構えた二人に

問題は起きなかった

スポーツが心をつないで

他所^{よそ}から転入して

知らない人の中に入った夫は
ソフトボールの仲間に入った

スポーツマンの夫は

進んでよく出かけた

日曜日など試合に行き

勝ったり負けたりしながら

地元の人に馴染んで

友だちがたくさんできた

盆おどりやダンスなども

進んで参加した

スポーツへの参加は

オリンピックのように

みんなの心を結んで

あたたかい輪をつくった